

将来外科医になったら ブラックジャックセミナー体験記

もし僕が将来医者になったら ぼくがもし医師になったら、いろいろな人の命を救って、どんな病気でも治せる薬を作りたいです。

その理由は、治らない病気がなんどいろいろあって、それで死亡している人がたくさんいるからです。がんの病気が「死ぬのをまつだけ」というとても苦しい病気です。その病気を僕は阻止したいのです。

そして二つ目の理由は、医者だったら家族の病気を治せるからです。こうして僕は医者になったら色々な病気を治していきたいです。

なので勉強に力を入れていい高校に入り、大学に行くことができます。第一のステップなので、これらも勉強をがんばっていききたいと思います。

今日は、いろいろなセミナーを体験できて、とても勉強になりました。中でも肉を使って手術がとても学習になったので、将来もし医者になったらそれを活用したいです。

セミナーに参加して 今回、私がブラックジャックセミナーに参加した理由は、将来は医療系の職に就きたいと思っていました。そこでこのセミナーのポスターを見つけ参加しました。

セミナー開始前は正直、ピリピリした空気で手術を体験するのかなとおもっていましたが、ですが、先生方は優しく丁寧に教えて下さり、楽しんで体験することができました。その中でも最新の機器を使わせてくれたり、とても貴重な体験でした。

常に機械は新しくなっていて、先生は医者になってからでも勉強するのだなあと思いました。

体験の中で一番楽しかったのは縫合体験でした。地味な作業ですが、一度覚えるとすらすらとでき、単純なものでした。この作業を先生は何秒でできるのか気になりました。

私はまだ、ただ漠然と医療系の職に就きたいなど思っているだけで、具体的には将来について決まっています。ですがこのセミナーに参加し、医師とい

うものが身近になった気がします。

医師とは人の命を救う仕事です。とても重要でやりがいを感じられる仕事だと思いました。

医師を身近に感じ、将来は医療系の職に就きたいという気持ちがよりいっそう強くなりました。

この貴重な体験をいかし、将来につなげていこうと思いました。

将来外科医になったら 私はもともと、将来医者になりたいと思っていました。ですが、外科医や内科医についてあまり知りませんでした。今回、ブラックジャックセミナーに参加して、少しは外科医について知ることができたと思います。なので、外科医にとっても興味がありました。

特に興味があったのは、『超音波メスによる模擬手術体験』です。普段、超音波メスは、見る機会も触れる機会もないので、とてもおもしろかったです。それともう一つ、『縫合系による模擬手術体験』です。左右で色の違うひもを使い教えてもらったので、とてもわかりやすかったです。

もしも、私が外科医になったら、たくさんの人を救い、「ありがとう」と言われるような人になりたいです。

将来外科医になったら 僕が、外科医になったら、一人でも多くの人を助けたいです。

ブラックジャックセミナーに参加してみた感想。

初めに、先生の話聞いて、外科にはたくさん種類があることがわかった。それに、外科の仕事についてわかった。

次にいくつかの組に分かれて、色々な体験をした。

①ヘリポートを覗にいき、ヘリポートは北見が一番高いところにあるということがわかった。それにみんながいける所ではないということもわかった。

②手術室を見に行く、手術室は完全に清潔じゃないとダメだということがわかった。

③整形外科の体験、骨折を治す体験をし、ボルトを入れたり、ネジをさしたり、固定したりする体験が出来てよかった。

④内視鏡外科手術体験では、モニターを見ながらピースやサイコロを取るのがとてもむずかしかったです。

⑤超音波メスによる模擬手術では超音波メスの振動は、一秒に五万五千回振動することがわかった。実際に超音波メスを使って肉を切ってみて、すぐ切れてすっきりかったです。

⑥縫合系による模擬手術、糸のしぼり方はいかに簡単だった。針や糸をつかって、縫合してみるとうまくいかなかったけど、二回、三回、四回目はスムーズにできた。

⑦自動縫合器、吻合器、胃の動画を見て、胃の切り方がわかった。ホッチキスで、くつつけるときの道具がすごかった。

終わりに、ブラックジャックセミナーに参加して、外科について、色々なことができてよかった。普段触れない道具にさわられてよかった。これを基に、外科について興味がわきました。

将来外科医になったら 私がもしも将来外科医になったら、いつも笑顔で患者さんから一言、「ありがとう」そういつてもらえるような外科医になりたいです。私は今回の、ブラックジャックセミナーに参加した理由が二つあります。一つ目は、私は小学校五年生くらいからずっと人を助ける医者になりたいと思っていました。なので学校に置いてある、ブラックジャックをおもしろく読んでいたのを覚えています。そんなマンガやテレビの中で使っている道具を使って、医者になったらどのような感じなんだろうと、興味が湧いたのが一つ目の理由です。

二つ目は、私は将来医者になりたくて、でも、医者とはどんな仕事なのかあまりわからなくて、お医者様本人からどんな仕事を聞いておきかけたからです。

この二つの理由があって私はブラックジャックセミナーに参加させていただきました。私はこのセミナーを通して、医者がどのような仕事なのかわかったような気がします。患者さんを救うために医者は全力をつくす。切る所をできるだけ小さくするようとか、患者さんがリラックスできるように工夫をしたとか、そんな医者に私はやっぱりなりたいたいです。そのために今を大切に勉強

をがんばりたいと思います。今回は私たちに体験をさせてくれた皆様に感謝しております。これからもたくさんの方の命を救ってください。

未来の自分へ 私が、今回参加させていただいた理由は、将来医療関係につきたくて、その選択肢の幅を広げたいと思ったからです。

行く前は何をするのかいまいち分からなくてとても不安でしたが、いざ始まってみると最初の不安など忘れてとても楽しむことができました。

ヘリポートや手術室など普段入ることができない場所に入ることができてとてもいい体験になりました。

体験した中で特に印象に残っているのが、超音波メスによる模擬手術です。普段触ることができない器具を触れることができ、実際にその器具を使って鶏肉に墨汁をがんと見立て取り除くという体験をすることができたからです。それと、実際の手術をする道具を使っての、縫合系による模擬手術などとても貴重な体験をすることができ、とても良い経験になりました。

今回は、お忙しい中お時間をつくってくださいありがとうございました。

この経験を未来に生かせるようにがんばります。今回は、本当にありがとうございました。

将来外科医になったら 私は小さい頃から、ケガをすることが多く、また頻繁に風邪をひいていました。その都度、病院に行き、医師の方に診てもらおうと安心でき、医師ですごい、カッコいいと思いました。そして徐々に医師の仕事に興味を持ち始めました。

私の将来の夢を決定づけたのが、今年の指を折ったときの経験です。私は野球部で最後の大会を控えていたので、間に合わないのではないかと、落ち込んでいました。そんな時診て下さった医師の方に

「大丈夫、治る、間に合うよ」と

と言われ、本当に嬉しかったことを覚えています。

この時に、医師は人の生活や夢、人生を左右してしまう職業だと実感しました。怖いと思いましたが、同時に、やりがいがあるとも思いました。

この体験で、私の将来の夢は外科医になることに決まりました。

私が将来外科医になったら、患者さんの命を何よりも大切に、外科医になりたいです。そして手術の腕も一流で、全身を診ることができる医者になり、いずれは、何事も患者さん優先の病院を作りたいと思います。

もし外科医になったら 僕は外科医という言葉は知っていましたが、どんな仕事をしている方々なのかはまったく知りませんでした。

でもこのブラックジャックセミナーを通して外科医という職業とはなんなのか、学べる事が出来ました。

まず、驚いたことは整形外科、消火器外科、呼吸器外科など様々な種類の外科があったことです。僕は手術をする人たちをまとめて外科と呼ぶと思っていたのでたくさん種類があつてびっくりしました。

ブラックジャックセミナーでは、本当に貴重な体験をさせていただきましたが、中でも印象に残っているのは、縫合糸による模擬手術体験です。

ぱつくりと開いた皮膚を人の手によって元に戻すことが出来るのを見てとても感動しました。

自分も外科医になったらそうゆうことが出来るようになりたいと思いました。もし外科医という職業になることが出来たら、整形外科になつてみたいと思いました。

整形外科は腰痛で変形性関節症など、高齢化社会では欠かせない外科だと思います。

最近では医者の数が減ってきているそうです。それに高齢化も進んできています。なので十年後、二十年後には整形外科がとても大切な外科になるのではないかと思います。なので、一人でも多くの高齢者を手術して薬になつてもらいたいので僕は整形外科医になりたいなあと思いました。

今回は本当にたくさんの方々の貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

外科医ということにあまり興味がありませんでしたが、セミナーを通して外科医についてもっと知りたくなりました。

今まで体験しなかったことを味わえたので、本当に良かったと思います。

本当にありがとうございました。

将来外科医になったら 私は小さい頃から医療系のドラマなどに興味があり、テレビドラマやビデオテープなどはよく見ていました。特にビデオテープはすり切れるまで見ました。そのことなどがきっかけとなり、私の将来の夢は小さい頃から医師になることでした。

今回のセミナーでは実際に手術でつかわれている器具を使い、外科医の体験にふれてみて、楽しかったし、いい体験が出来ました。

体験はたのしかったけど、体験したことを実際に人の体の中で行うということは怖いし、医師という仕事は大変な仕事だということを、改めて感じました。

私は子どもが大好きで、将来は幼児科医をめざしています。でも、今日学んだことは決して外科のことだけではないと思うので、今回の体験はとてもいい経験になつたし、外科医という仕事は大変なだけでなく、やりがいのある仕事だと思えました。

私が将来外科医になつたとしたら、たくさんの方々の患者さんを助けてあげたいです。

今回のブラックジャックセミナー、とてもたのしかったです、たくさんの方を学ぶことができました。

本当にありがとうございました。

将来外科医になったら 私はブラックジャックセミナーで、体験したことから形成外科になつてみたいと思うようになりました。

なぜなら、六年生の夏休みに中指をスライサーで切つてしまい、で治療を受けたことがあります。その時治療を受けたのが形成外科医でした。治療を受けるときは怖かったけれど、看護婦さんもお医者さんもすごく優しく、安心して治療してもらいました。そのときから少しずつ医療関係の仕事にそこがれを持ち、ブラックジャックセミナーを終えてもっと医療関係の仕事につきたいと思うようになりました。

お医者さんは命をたくさん預かるひとなので、そう簡単には慣れないけれど、人々にとって一番大切な人なんだなと感じた一日でした。

本当にありがとうございます。

将来外科医になったら 私はこの「ブラックジャックセミナー」に参加して色々なことを学びました。例えば手術で使用する器具の機能、胃や腸などの繋ぎ方です。その中で一番興味を持ったのは超音波メス体験です。マネキンのお腹の上に人間の肉に見立てた鶏肉を置き切つていきます。傷跡をあまり残したくない人におすすめです。その機能は止血しながら肉を切ることができ、あまり出血しない所が利点です。

機能があまり分からない器具がたくさんありましたが、このセミナーに参加してたくさん覚えることが出来ました。

将来外科医になったら、私はたくさんの方々の人を助けたいと思います。なぜならこのセミナーに参加するまでは、興味がありませんでしたが、参加してみても、外科医の種類や仕事内容を深くより詳しく知ることが出来たからです。

外科医は未来の日本の医療に欠かせないものだと思いました。

将来外科医になったら 私は、小学生のころから医師になりたいと憧れています。きっかけは、親戚の叔父が突然のクモ膜下出血で病院に搬送され、両親や祖父母と病院の待合室で待つていた時に「自分に何かできたら」と強く思ったことでした。

学校の先生から今回のセミナーのお知らせを聞いて、医学について、手術での器具の使い方や、どんなお医者さんがいるかなど、とても興味が湧き、参加しました。

手術室の見学では、医師が手術しやすく調整できる手術台に乗り、患者さんの体験もできたことが印象的でした。

超音波メスによる模擬手術や内視鏡外科手術では、お医者さんに丁寧に説明して頂き、患者さんへの負担が少なくなる様な進化を実感しました。

私が外科医になったら、しっかりと患者さんの病状を知って、技術をつかって多くの命を救いたいと思います。

そのために勉強します。

将来外科医になったら 私の将来の夢は看護師なのですが、医師という仕事はどのようなものなのか、と興味をもっていたので、今回、ブラックジャックセミナーに参加しました。

私が将来外科医になったら、患者さんに少しでも安心して手術を任せてもらえるように、普段から患者さんとコミュニケーションをとって、常に明るく、患者さんに不安や心配を与えないようにしたいと思います。

ですが、その前に学ぶことがたくさんあると思うので、ブラックジャックセミナーで体験したことを何度も練習し、完璧にして、今回のセミナーで体験したことや、学んだことをいかして、手術が成功するように、患者さんの病気が早く完治するように努力をしていこうと思いました。

今回のセミナーを受講できたのは私にとつても良い経験となつたし、医師というのはやはりすごい仕事なのだ、と思いました。

もし外科医になったら もし私が外科医になったら、たくさんの方々の人を元気で笑顔にしてあげられるように、自分の技術などをみがいて、救えるようにしたいです。

そのためには、まずブラックジャックセミナーのときに教えてくれた人のように、誰にでも笑顔でいることだと思っています。なぜかという技術がみがかくということは大切ですけど、その前に自分が笑顔でいないと、患者さんも、この人にたのんで大丈夫と心配になつてしまうかもしれないので、技術をみがくとともに笑顔をもって患者さんが心配しなくていいような外科医になりたいです。そしてたくさんの方々の人を元気にしてあげたいと思います。

このたびは、ブラックジャックセミナーをしていただいた、まことにありがとうございました。

セミナーを通して私が学んだこと 私がこのセミナーを受講しようと考えたきっかけは、友達からの一言でした。

私は病院に向かう途中、楽しめという気持ちと一緒に不安や緊張という思いがわきあがってきました。それでも早く体験をしたいと考えていました。

中に入り、外科医の先生の話聞いてから体験に入りました。なかでも私が

オホーツクの風

平成28年11月30日(水) 0018号

発行所
北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局
北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684



②超音波メスによる模擬手術。
マネキン人形のお腹の上に、癌をマーキングした鶏肉を置き、その部位を超音波メスで切除する。

**私の将来の夢は外科医になることに決まりました。
私が将来外科医になったら、患者さんの命をなによりも
大切にしたいです。** 北見市立光西中学校 3年生の作文から

平成28年11月6日(日)、ブラック・ジャックセミナーを開催。12時30分からの受付で8つの北見市立中学校の生徒27名が登録を済ませ、移動観覧席に緊張し少し不安げに着席して見学に見えた教育委員会の課長、相内中学校の校長先生や生徒の父兄の皆さんも移動観覧席でセミナーの開始を待っています。
北見赤十字病院から吉田院長、外科部長・整形外科部長・医師・研修医、看護部門・事務部門などの皆さんが休日返上して、ボランティアで集まっています。
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)のスタッフは昨夜の大雪の中、多くの医療機材を携え、札幌からその朝、北見に到着しました。
(2面に続く)

ブラック・ジャック セミナー

■日時：平成28年11月6日(日) 午後1時から
■場所：北見赤十字病院 多目的ホール「ミント」・手術室

北見赤十字病院
共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
北見赤十字病院の明日を考え支援する会
後援：北見市・北見市教育委員会

一番面白いなと感じたものは、最新医療器体験(超音波メス)という体験です。鶏肉の上に墨を垂らしてそれを取り除くという内容でした。最初に同じグループの人がするとき横から見ていて、難しそうと思っていましたが、病院の先生たちのアドバイスによってうまく切除することが出来てうれしかったです。他の体験などで初対面の人たちと協力して、充実した体験が出来ました。このセミナーを通して私は外科医という仕事に少し興味を持ちました。

将来外科医になったら 私の将来の夢は医者になることです。私もし外科医になったら、たくさんの人を助けることができる医者になりたいです。けど、いままで、自分は不器用だから外科医は難しいと思っていました。

しかし、今回の手術体験をしてみて、案外できるんじゃないかなと思えました。中でも内視鏡外科手術の体験では、モニターをつかってもすぐに距離感覚をつかむことができて、たくさんの方の医師の方にほめていただきました。体験で自分でもできることがあったので、いろいろ、やってみるものだなと改めて感じる事ができて、さらに夢が広がった気がしました。

私は大学を卒業したらオホーツクに戻ってきて、いままで育ってきた地元に戻返しができるよう、北見日赤で働きたいと思っています。医者として地元の人役に立って、地元医療が少しでも活発になってほしいと思います。そのためには、今から勉強をたくさんしています。

今回の貴重な体験を大事にこれから頑張っていきたいです。

私が医師になったら 私もし医師になったら何よりも患者さんを大切に、尽くすことができるような医師になりたいです。

また、今世界中には、病気で苦しんでいる子供たちや人々がたくさんいます。その人々の助けに少しでもなりたいと思います、私は国際協力に興味があります。なので、医師としての経験を積むことができれば、国際協力に参加し、世界中の人々の助けになりたいと思っています。
これらを実現するために、今私にできることは、医師になるために勉強をがんばることです。そして世界中をまわるためには世界の公用語である英語を習

得することが必要です。

また、全てに共通して、初めに書いた何よりも患者さんを大切に、尽くすことができるような医師になるためには、「優しさ」が一番大切であると私は考えます。ですから、勉強をがんばり、英語も習得できるように努力し、「優しさ」を大切にしながら未来に向けて毎日を通して過ごしていきます。

将来外科医になったら 私はこのブラックジャックセミナーを受けて医療に興味を持ちました。

私はずっと看護師になりたかったのですが、医師になりたいという気持ちが強くなりました。

私もし外科医になったら、いろいろな人の命を自分の手で救いたいと思いました。失敗する可能性もあるけど前向きな気持ちで受けたいです。

外科医の体験でやった「超音波メス」が一番心に残っています。私はあの体験でも、すごく怖かったです。なのであのようなことをしている医師をすごく尊敬しています。

将来、私は医師という立派な夢にたどり着いていなくても、看護師という仕事をしようと思いました。

これからも、このような体験ができれば、すごく心に残ると思います。これからも続けてほしいです。

ブラックジャックセミナー ぼくはブラックジャックを受けて思ったことは、①手術をする人はいろんな道具を使って手術をするのがすごいと思いました。②手術に使う、メスや手術専用のハサミを使って見ると楽しかったです。ぼくは目の前にある画面を見て手を動かすのが一番楽しかったです。二番目はとり肉をピッとナイフ見たいので切ったのが楽しかったです。また来年ブラックジャックセミナーがあったら、受けてみたいです。

④自動縫合器・自動吻合器体験



手術で臓器などを縫い合わせる場合、メスで切った針と糸で繋ぎ

③縫合糸による模擬体験
創傷(そうじょう)や手術部位の組織を繋ぎ合わせるための縫合糸についての体験です。

その後、糸結びです。一人一台の糸結びの模型でその結び方や縫合について外科の医師の指導を受け、練習します。

④自動縫合器・自動吻合器体験
手術で臓器などを縫い合わせる場合、メスで切った針と糸で繋ぎ



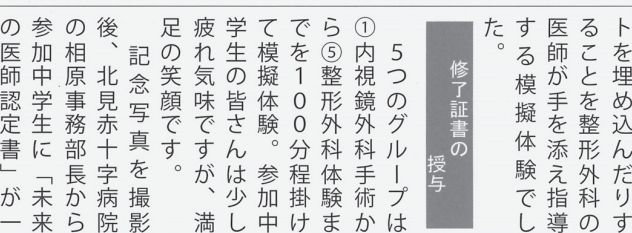
③縫合糸による模擬体験

⑤整形外科体験
整形外科は、骨や関節、筋肉などのけが、痛み、知覚障害、運動障害などを担当する部門で、骨折、脱臼、打撲などの外傷をはじめとして、肩こり、腰痛、膝痛など、日常的に起こる体の痛みなどを診



⑤整形外科体験

療します。また出来るだけ運動機能を元通りにすることや痛みを取ることも整形外科の重要な仕事です。



⑤整形外科体験

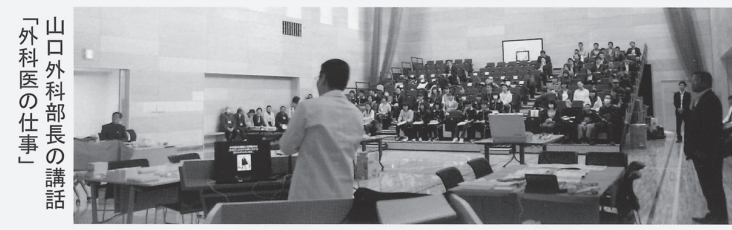
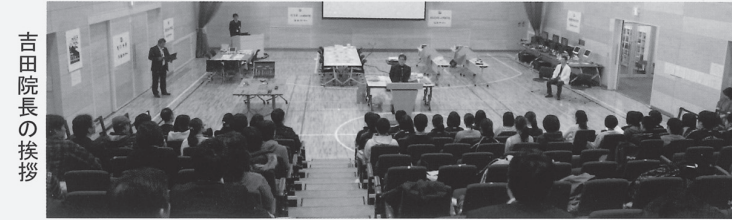
⑤整形外科体験
整形外科は、骨や関節、筋肉などのけが、痛み、知覚障害、運動障害などを担当する部門で、骨折、脱臼、打撲などの外傷をはじめとして、肩こり、腰痛、膝痛など、日常的に起こる体の痛みなどを診



⑤整形外科体験

⑤整形外科体験
整形外科は、骨や関節、筋肉などのけが、痛み、知覚障害、運動障害などを担当する部門で、骨折、脱臼、打撲などの外傷をはじめとして、肩こり、腰痛、膝痛など、日常的に起こる体の痛みなどを診

修了証書「未来の医師認定書」の授与



①内視鏡外科手術体験
①内視鏡外科手術体験は赤組、②超音波メスによる模擬手術体験はオレンジ組、③縫合糸による模擬手術体験は緑組、④自動縫合器・自動吻合器体験は青組、⑤整形外科体験はグレー組が各々の位置に着き開始です。

①内視鏡外科手術体験
①内視鏡外科手術体験は赤組、②超音波メスによる模擬手術体験はオレンジ組、③縫合糸による模擬手術体験は緑組、④自動縫合器・自動吻合器体験は青組、⑤整形外科体験はグレー組が各々の位置に着き開始です。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

共催各社の全スタッフは、参加の中学生に満足して貰おうと熱い思いでそれぞれのセクションで待機しています。

山口外科部長が「外科医の仕事」をテーマに講話です。

手術室ツアーです。参加中学生は2班に別れ、手術室見学は看護師長の説明を受け、ヘリポート見学は総務課長の案内で会場を出発。

①内視鏡外科手術体験
①内視鏡外科手術体験は赤組、②超音波メスによる模擬手術体験はオレンジ組、③縫合糸による模擬手術体験は緑組、④自動縫合器・自動吻合器体験は青組、⑤整形外科体験はグレー組が各々の位置に着き開始です。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

②超音波メスによる模擬手術体験
マネキンのお腹の上に癌をマーキングした鶏肉を置き、超音波メスでその部位を切除する体験。

休憩

27人のブラック・ジャック

副代表 谷川 勝男

不安と緊張のうちにはじまった北見版「ブラック・ジャックセミナー」は内視鏡、超音波メス、縫合糸、自動縫合器、整形など五つの部門が二つ、三つと進むのにつれて、中学生たちの背に「真剣」がはりついていくように思われた。

全国のどんな教育現場にもないほどの真剣さ、必死さが伝わってくるようで感動させられた。それは北見赤十字病院の医師、研修医、そしてジョンソン・エンド・ジョンソン(株)のスタッフの懇切で丁寧な指導がもたらしてくれたものだった。

初めに吉田院長のお話があった。いつものように一歩引くように静かです。い語り口が、ブラック・ジャックに挑戦しようとする中学生たちの気持ちをほぐして、くつろがせて下さった。

ちほセミナーの場で最高級の「教師」であったのだと、元中学校教師は受け止めて感動させられた。

27人のブラック・ジャックたちが、無事、セミナーを修了した。相原事務部長さんから修了書が授与された。5人、10人と手渡されていくうちに、27人が大変な数なのだと思感させられた。しかし、

子どもでなくて、大人でもない中学生たちほど、期待に込めようとして生活している者はいない。つまり将来への夢を膨らませて生活しているというのだ。その夢への「期待」を正面からぶつけて下さった医師、研修医、スタッフの方たち

事務部長さんは一人ひとりにゆつくりていねいに手渡して下さった。そのことが27人の中学生たちに、2016年11月6日(日)のセミナーの体現者としての実感を与えて下さったように思う。

「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」には高齢者の会員が多い。自ら、「私は枯れ木のにぎわい」と口にする80代の女性もいる。しかし年齢、「高齢」であることが何か目的をもって行動するときの障害にはならない。会の存在

「私は枯れ木のにぎわい」と口にする80代の女性もいる。しかし年齢、「高齢」であることが何か目的をもって行動するときの障害にはならない。会の存在



はその一つの「証」と受け止めてもらえればうれしい。

「人」、リーダーは必要で不可欠である。代表逢坂信治。常に前向きに斬新な課題を提起し、実行、実践の上では率先垂範、労を惜しまない。会が誇る代表である。

事務局長阿久津俊子。事がはじまれば取り組みにあわせて多岐、多忙をきわめる諸務、資料作り、記録に精魂を込めて当たる。信頼の人である。

ともあれ「支援する会」は、この二年弱、「ブラック・ジャックセミナー」とはどんなことをするのか学ばせていただいた。

「高齢」にはめげないで、東京オリンピックの時に活動を持続させていたいものである。それが我々の唯一の念願である。

そして、吉田院長はじめ、医師、研修医、事務方の皆さんが、日頃の多忙をかえりみず、「27人の中学生」に確かな夢と希望を与えて下さった。

『キッズ医療体験セミナー・キッズ外科手術体験セミナー2011 in 横浜』企業共催・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)の活動を平成24年5月に、当方のHPに載せています。

『私が感じたこと』「このような企画が北見で実現すれば、子どもたちにとって、子どもたち、支援する会にとっても、なんて素晴らしいことでしょう。』でその文章は終わっています。

ブラック・ジャックセミナーはここから始まったのです。長年あたためた企画が実現、この上ない喜びです。準備段階で、共催各社の担当の方に不快な思いをさせた場面が有りましたこと、平にご容赦下さい。

(逢坂)



新北見市史 資料編	
令和元年(二〇一九)八月二十日印刷	
令和元年(二〇一九)九月二十日発行	
編集 北見市史編集委員会	
監修 北見市史編さん委員会	
発行者 北見市長 辻 直孝	
印刷所 小林印刷	
北見市本町五丁目 電話(〇一五七)二四一一八二二	